

## VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽
----	------	----	--------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分とB区分の両方
------	------------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	有
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

その他を選択した場合	
------------	--

## 芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきしゃんだんほうじんかんぜきゅうこうかい 公益社団法人観世九阜会		
代表者職・氏名	理事長 観世喜之		
制作団体所在地	〒162-0805		
	東京都新宿区矢来町60番地		
電話番号	03-3268-7311	FAX番号	03-5261-2980
ふりがな 公演団体名	こうえきしゃんだんほうじんかんぜきゅうこうかい 公益社団法人観世九阜会		
代表者職・氏名	代表理事 観世喜之		
公演団体所在地	〒162-0805		
	東京都新宿区矢来町60番地		
制作団体 設立年月	昭和27年 9月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	【代表理事】 観世喜之 【常務理事】 3名 永島忠修、弘田裕一、観世喜正 【他 理事】 7名 【監事】 2名 【法人社員】 34名(個人会員・能楽師) 【事務局】常勤職員4名、非常勤職員6名		【社員】(個人会員・能楽師)34名 【入会資格】 (公益社団法人観世九阜会 定款第6条より抜粋) 1) 正会員この法人の目的及び事業に賛同して入会した、満20歳以上で、観世流の能楽師個人。
事務体制の担当	専任	本事業担当者名	芝田 裕之
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	秋武 みのり

制作団体沿革	明治40年 観世九阜会設立 明治44年 神田西小川町にて能舞台を構える 昭和5年 現在地の神楽坂に本拠地を移転 昭和27年 社団法人の認可を受ける 平成24年 公益社団法人の移行認定を受ける		
学校等における公演実績	文化服装学院校外教室 (昭和33年より60年以上毎年開催) 日本女子大学付属中学校 能狂言鑑賞会(昭和58年より約38年毎年開催) 新宿区牛込地区小学校 能狂言鑑賞会(昭和59年より約37年毎年開催) 日本外国語専門学校 (平成24年より9年毎年開催) 穎明館中学校 能狂言鑑賞教室(約10年毎年開催) 三輪田学院高等学校 能狂言鑑賞教室(約3年毎年開催) 長崎の子供達へ能楽を. (長崎県教育委員会・高等学校生徒が伝統芸能に触れる機会促進事業 / 平成16年より受託) 等、講座を含め多数実施		
特別支援学校における公演実績	特になし		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有
		※公開資料有の場合URL	DVDを提出します
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: <input type="text"/> PW: <input type="text"/>
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料	
		※公開資料有の場合URL	
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: <input type="text"/> PW: <input type="text"/>

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 公益社団法人観世九阜会 】

対象	<input type="radio"/>	小学生(低学年)	<input type="radio"/>	中学生		
	<input type="radio"/>	小学生(中学年)				
	<input type="radio"/>	小学生(高学年)				
企画名	能楽を学んでみよう					
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	①仕舞「土蜘蛛」(仕舞形式・能「土蜘蛛」の前半部分を上演) 上演時間 (5分) ②能「土蜘蛛」(半能形式・全2幕のうち後半の第2幕を上演) 原作/作曲/脚本等: 作者未詳(典拠「平家物語」剣巻) 上演時間 (20分) ③狂言「柿山伏」 原作/作曲/脚本等: 作者未詳 上演時間(15分) ④ワークショップほか 解説 (10分)・楽器体験(20分)・狂言所作体験(20分)・質問応答(10分) 公演時間(100分)					
著作権		制作団体が所有	<input type="radio"/>	制作団体以外が所有する事項が含まれる	取得済	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾状況
演目概要	①能「土蜘蛛」 ≪前半部分≫ 病に臥せている源頼光(みなもとのらいこう)のもとに怪しげな僧が現れる。不審な者の訪れに警戒する頼光、すると怪しげな僧は巨大な蜘蛛となって頼光めがけ蜘蛛の糸を投げかける。咄嗟に枕元に置いていた源氏重代の太刀「膝丸」を抜き蜘蛛を斬りつけると、傷を負った蜘蛛は姿を消す。 (本公演では、前半部分を仕舞という形式で上演します) ≪後半部分≫(別添1) 頼光に仕えている独武者(ひとりむしや)は、供の武士を伴い土蜘蛛の棲む塚に赴く。現れた妖怪土蜘蛛との戦い。次々に繰り出される千筋の蜘蛛の糸…しかし、ついには土蜘蛛も独武者たちによって退治される。 (本公演では独武者と供の武士たちが土蜘蛛を退治しにゆく、後半部分を能の形式で上演します) ②狂言「柿山伏」(別添1) 畑の柿を山伏に盗み食いされた畑主が、柿の木の梢に隠れた山伏に「あれはカラスだ」「いやサルだ」といって、散々に鳴きまねをさせる。ついには「鳶だ」といわれ、山伏は木から飛んでみるが転落。足腰を痛めた山伏は畑主に治療を求めが…。神通力をも持つはずの山伏が滑稽に描かれる。					
演目選択理由	①能「土蜘蛛」 ・古典の言葉を用いて上演される能楽は、大人でも「難しい」と思われがちです。 ・当法人(観世九阜会)では、近隣小学6年生を30年以上「土蜘蛛」で招待公演を続け、児童教師共に好評を得ている実績の伴った演目です。 ・鬼退治のわかりやすい物語と、蜘蛛が糸を投げる見目の華やかさ、迫力ある囃子の演奏で、児童・生徒たちに能楽の面白さを伝ええます。 ・そこから古典の文学や音楽の世界に興味を持ち、関心を高めてゆくことが期待できます。 ②狂言「柿山伏」 ・内容がわかり易く、形態模写や、狂言の本質である「おかしみ」「滑稽さ」を存分に生かしており、小・中学生にも十分理解し、楽しむことができる演目です。					
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	【能と狂言の鑑賞】(別添資料あり・別添No.1) ・仕舞「土蜘蛛」(前半)、能「土蜘蛛」(後半)と狂言「柿山伏」を鑑賞します。 【楽器体験】(別添資料あり・別添No.2) ・音楽の教科書に取り上げられている能楽の楽器を「音楽」の視点から、専門職の囃子方が説明、実演します。 ・その後、代表の生徒には実際の楽器で、ほかの生徒にはそれぞれの楽器に合わせ、手拍子などで能の音楽を合奏する体験をしていただきます。 【狂言体験】(別添資料あり・別添No.2) ・おもしろい笑いの芸術である狂言の所作を、鑑賞した「柿山伏」で登場する動物の物まねや、狂言独特の笑いの所作等を全員に体験していただきます。					
出演者	①能「土蜘蛛」 シテ方: 観世喜之、観世喜正、永島忠彦、小玉三郎、弘田裕一、駒瀬直也、中所宜夫、遠藤和久、奥川恒治、遠藤喜久、鈴木啓吾、永島充、佐久間二郎、坂真太郎、長山耕三、桑田貴志、中森健之介、新井麻衣子、河井美紀、奥川恒成、石井寛人、金子仁智翔(この中から公演期間によりシテ方11名を選定)、 ワキ方: 殿田謙吉、大日方寛、則久英志 囃子方: 竹市学、幸正昭、亀井広忠、大川典良 (公演により出演者が変わります) ②狂言「柿山伏」 狂言方: 善竹大二郎、大藏教義、川野誠一(公演により出演者が変わります)					
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 21 名 スタッフ: 1 名 合計: 22 名		機材等 運搬方法		積載量: 0.35 t 車長: 3 m 台数: 1 台	

【公演団体名 公益社団法人観世九阜会 】

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間		1	時間程度
	学校のご要望に合わせ、午前の実施も可能です。					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	12時	12時～1時	1時30分～3時10分	10分	3時30分 ～4時	4時
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時間分程度です。						
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ		体育館または会場の入場可能人数まで			
	本公演		体育館または会場の入場可能人数まで			
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>【能楽についてレクチャー】 能楽についてレクチャーします。(別添資料あり・別添No.3)          ・テキスト … 能楽の理解を深めるため、事前ワークショップの内容に合わせたテキストを使用いたします。          配布テキストに沿って能楽の歴史についての簡単な解説。          ・あらすじ、みどころ … 能『土蜘蛛』について、小・中学生にも理解しやすいように紙芝居形式で解説します。</p> <p>【体験】 レクチャーの後、実際に体験していただきます。(別添資料あり・別添No.4)          ・謡(うたい)の体験 … 謡曲『土蜘蛛』の一節を全員で謡います。          ・すり足体験 … 生徒全員で能の舞の基本となる身体の構えと足の運び(すり足)を体験します。          ・クラフト作業 … 生徒全員で厚紙の太刀を作成し、先生には土蜘蛛の糸を投げる体験をしていただきます。          生徒は作った太刀を使って、先生が投げた蜘蛛の糸を切る体験をします。          ・能面をつける … 代表の生徒には、能面を掛けて歩く体験をします。          極度に制約された視野で如何にして能役者が舞台上で舞っているかを感じていただきます。</p> <p>【成果】          これまでの実施校では、ワークショップでの体験により、「謡」(セリフ)を生徒が口ずさむなど、身近なものとなり、理解が深まっております。また、謡の体験による正しい発声は、今後大いに役立つものと期待できます。</p>					
ワークショップ 実施形態の意図	<p>《伝統芸能を身近に》          ・能の言葉は、古典の文語体であることで、馴染みがうすく、聞き取りづらいかもかもしれません。けれども言葉をひも解き、作品の背景や内容を知れば、小学生でも理解できます。古語である「謡」や身体パフォーマンスである「舞」の基本を体験することで、古典を身近に感じ、本公演でのより充実した鑑賞と深い理解、興味が得られることが期待出来ると考えます。          ・事前ワークショップ、本公演を通じて、能、狂言はもとより、謡、能面、所作、楽器と能楽全体を体感できるので、生徒それぞれが、自分の興味ある部分を見つけられ、伝統芸能に親しむ事ができます。</p>					
特別支援学校での 実施における工夫点	各支援学校側の希望に応えられるよう、学校側との打ち合わせを綿密に行い実施してゆきます。尚、視覚特別支援学校については、所属の能楽師が現在も指導しておりますので、経験を活かし、また、指導用に作成しました点字テキストを使用することが可能です。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

リンク先	No.1	【公演団体名	公益社団法人観世九阜会 】
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態	1. 【能と狂言の鑑賞】		
	①能「土蜘蛛」、狂言「柿山伏」の実演を鑑賞します。		
			
能「土蜘蛛」上演の様子			
			
狂言「柿山伏」上演の様子			

リンク先	No.2	【公演団体名	公益社団法人観世九阜会 】
<p>児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態</p>	<p>2. 【楽器体験】</p> <p>①能楽の楽器体験では、代表の生徒は実際の楽器を体験します。 その他の生徒は自分の手を楽器に見立て、大鼓と小鼓のパートに分かれて演奏し、代表生徒の楽器と合奏します。</p> 		
	<p>3. 【狂言体験】</p> <p>①生徒全員で、狂言「柿山伏」で登場する動物の物まねや、狂言の笑い方など、狂言独自の所作を体験します。</p>  <p>狂言「柿山伏」の一場面、柿をもぎって食べる所作を体験している様子</p>		

リンク先

No.3

【公演団体名

公益社団法人観世九皋会

】

1. 【能楽についてレクチャー】

①能楽について、プロジェクターを使用し、生徒たちにわかりやすくレクチャーを行います。



テキスト（抜粋）

演目のあらすじ解説では、紙芝居形式の動画としてプロジェクターでも映写します。

ワークショップ  
実施形態及び内容

能楽の歴史を知ろう	能面をみてみよう
<p>①能の始まり たぐひの歴史が、語り、歌などの長びく長い、古い、豊饒時代の神楽(「能」の原型)が生まれ、</p> <p>②能の発展 室町時代に、能楽師、能楽師により能楽が生まれ、能楽や美しい舞にストーリーが加え、「能」というお芝居が完成しました。</p> <p>③能として発展 室町時代には、能楽の歴史(能楽の歴史)となり、能楽で能楽が能楽する能楽家として、何年も能楽から能楽も受け継ぎます。</p> <p>●能楽として 能楽は、能と能で能楽されること多く、能楽を能楽する能楽の能楽として能楽しました。</p> <p>●能楽に能楽する能楽 室町時代(1574年)には、ユネスコの第一回「人類の口承及び無形文化遺産の国際的守り」(1972年)に「能楽」が登録されました。</p> <p>能楽 日本文化の宝</p>	<p>能面 (一般)</p> <p>能面 (あまて)</p> <p>能面 (ぼんね)</p> <p>能面 (しのみ)</p>

能楽【土蜘蛛】のあらすじ	
<p>① 能楽師、能楽師の能楽師の能楽を能楽する能楽師... 能楽師、能楽師の能楽師の能楽を能楽する能楽師... 能楽師、能楽師の能楽師の能楽を能楽する能楽師...</p>	<p>② 能楽師、能楽師の能楽師の能楽を能楽する能楽師... 能楽師、能楽師の能楽師の能楽を能楽する能楽師... 能楽師、能楽師の能楽師の能楽を能楽する能楽師...</p>
<p>③ 能楽師、能楽師の能楽師の能楽を能楽する能楽師... 能楽師、能楽師の能楽師の能楽を能楽する能楽師... 能楽師、能楽師の能楽師の能楽を能楽する能楽師...</p>	<p>④ 能楽師、能楽師の能楽師の能楽を能楽する能楽師... 能楽師、能楽師の能楽師の能楽を能楽する能楽師... 能楽師、能楽師の能楽師の能楽を能楽する能楽師...</p>
<p>⑤ 能楽師、能楽師の能楽師の能楽を能楽する能楽師... 能楽師、能楽師の能楽師の能楽を能楽する能楽師... 能楽師、能楽師の能楽師の能楽を能楽する能楽師...</p>	<p>⑥ 能楽師、能楽師の能楽師の能楽を能楽する能楽師... 能楽師、能楽師の能楽師の能楽を能楽する能楽師... 能楽師、能楽師の能楽師の能楽を能楽する能楽師...</p>

リンク先	No.4	【公演団体名	公益社団法人観世九阜会 】
ワークショップ 実施形態及び内容	2. 【体験】		
	①全員で、能楽師の指導のもと、すり足を体験します。		
			
②代表の生徒には「能面」をつけて歩く体験を、			
その他の生徒には能面を着けて動いた時にどのように見えるかを観察して頂きます。			
			
③能「土蜘蛛」の所作体験では、土蜘蛛の糸を先生が投げ、生徒は作成した厚紙の太刀で切る所作を体験します。			
			



体育館フロアでの上演イメージ

# 能 「土蜘蛛」

つちくも

蜘蛛の妖怪 VS 源頼光の家来たちが繰り広げる、  
勧善懲悪ストーリー!

## 能「土蜘蛛」あらすじ

※能の後半部分のみ上演

時は平安。源頼光（みなもとらいこう）に仕える独武者（ひとりむしゃ）は、頼光を襲った土蜘蛛を退治するため、供の武士を連れて土蜘蛛が棲む塚におもむく。塚を突き崩すと、中から現れた妖怪土蜘蛛は、次々に千筋（ちすじ）の糸を繰り出し、激しく応戦するが、ついには独武者たちによって退治されてしまう。手品のように繰り出される蜘蛛の糸、能独特の殺陣（たて）など、華やかな演出に注目です。



体育館ステージ上での上演イメージ



体育館フロアでの「柿山伏」上演イメージ

柿どろぼうの山伏を畑主がこらしめる、  
痛快ものまねコメディ!

## 狂言「柿山伏」

かきやまぶし

### 狂言「柿山伏」あらすじ

畑の柿を山伏に盗み食いされた畑主が、柿の梢に隠れた山伏をこらしめてやろうと、カラスやサルなどさまざまな動物の鳴きまねをさせる。ついに「鶯（とび）だ!」といわれた山伏は、思わず木から飛んでみせるが、もちろん墜落! 足をくじいて畑主に治療を頼むが…。畑主の声に翻弄される山伏の滑稽な姿、狂言ならではの動物の鳴きまねをお楽しみください。

# 公演のプログラム

## 事前ワークショップ

### <座学の部>

- ・テキストを参考に能楽の基礎知識を学ぶ
- ・演目のあらすじを紙芝居で小学生にも分かりやすく紹介

### <体験の部>

- ・「謡曲ようきょく」の一節を謡う
- ・「すり足」で歩く
- ・「能面」を掛けて歩く
- ・「蜘蛛の糸」をまく

## 本公演

### <第1部>

- ・狂言「柿山伏」の鑑賞
- ・能「土蜘蛛」の鑑賞

〔休憩〕

### <第2部>

- ・能楽囃子（楽器）の体験
- ・狂言の体験
- ・質疑応答



事前ワークショップでは『土蜘蛛』の「謡うたい」（歌詞）の一節を全員で謡い、舞の基本となる「構え」や「すり足」を体験。さらに、代表生徒は能面をつけて舞台を歩き能楽師の視線を体験します。

本公演当日、能『土蜘蛛』の終了後には、代表の生徒が楽器を使い、残りの生徒全員で合奏をします。また、狂言は全員で所作やセリフ、おおらかな笑いの表現を体験をします。



## 「能楽」とは…

### 『能楽』は、約650年前から続く「お芝居」です

「能」は、シリアスな物語を演じる仮面劇です。主役の「シテ」、脇役の「ワキ」、狂言の登場人物と、楽器を演奏する「囃子」、合唱を担当する「地謡」が繰り広げる日本独自の歌舞劇です。また、「狂言」とは、人間の誰もが持っている心の機微を、おおらかな笑いで表現したセリフ劇で、昔も今も変わらない、愛すべき人間の姿を描き出しています。実演や体験を通して、能楽の持つ日本の伝統美や伝承の技と心を、間近でお楽しみください。

上演する学校は、体育館など場所を提供していただくだけです。必要な舞台や道具は観世九臈会が用意します。

公演当日も1時間程度での設営、終演後には30分程度で撤収が可能です。

## 【実施団体】こうえきしゃだんほうじん かんぜきゅうこうかい 公益社団法人 観世九臈会

- 明治時代より100年以上の歴史をもつ演能団体。
- 重要無形文化財総合指定者18名が所属。
- 学生向けの能楽鑑賞教室を60年以上主催する実績があります。

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	B25	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽	ブロック	B	区分	A区分
公演団体名	公益社団法人 観世九車会				制作団体名	公益社団法人 観世九車会			

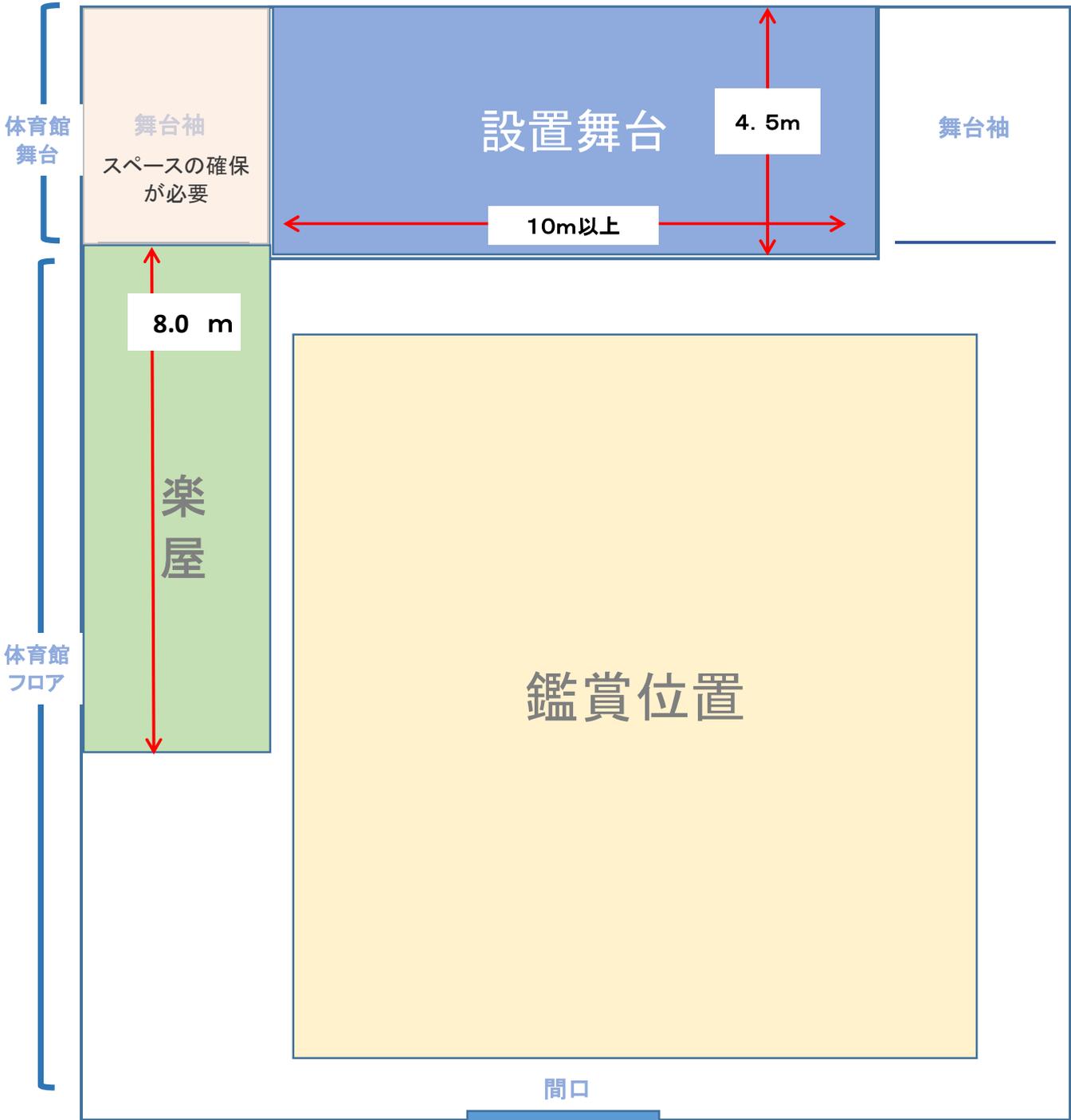
① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談	
控室について	必要数*	1室	条件	体育館に近い場所が希望ですが、なければ何処でも構いません。家庭科室、工作室等で結構です。				可	
搬入について	来校する車両の大きさ台数*			バン	1台	大型バス	1台	可	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細			大型バスは、学校内に駐車する必要はありません。				/	
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			長さ4.0m×幅2.5m				可	
	搬入車両の横づけの要否*			要				可	
	横づけができない場合の搬入可能距離*			30m以内				可	
	搬入経路の最低条件			特にありません。				可	
	理由							/	
	設置階の制限*			問わない				可	
	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.5m	高さ	1.8m		可	
WSIについて	参加可能人数		体育館に収容できる人数まで					可	
	学年の指定の有無*	なし	指定学年*	小学生	中学生		可		
	所要時間の目安 単位:分		2時限分(小学校45分+45分、中学校50分+50分等)					可	
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。				/	
	鑑賞可能人数			体育館に収容できる人数まで				可	
	舞台設置場所*			ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能				可	
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	10m	奥行	4.5m	高さ	指定なし	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保*			要				可
		舞台袖スペースの条件*			下手袖に荷物が無い状態。 上手袖は使用しません。				可
		緞帳*		不要		バトン*	不要		可
	遮光(暗幕等)の要否*			不要		理由		-	
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動*		要		※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			可
		ピアノの事前調律*		不要					可
	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況*		格納されていれば可				可	
	公演に必要な電源容量			不要		※主幹電源の必要容量			可
その他特記事項								応相談	
鑑賞人数が200名以下の場合、フロア上に舞台を設置、								可	
200名を超える場合にはステージ上に舞台を組ませていただきます。									
状況に応じて相談させていただきます。									

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1.5m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの可否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		30m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

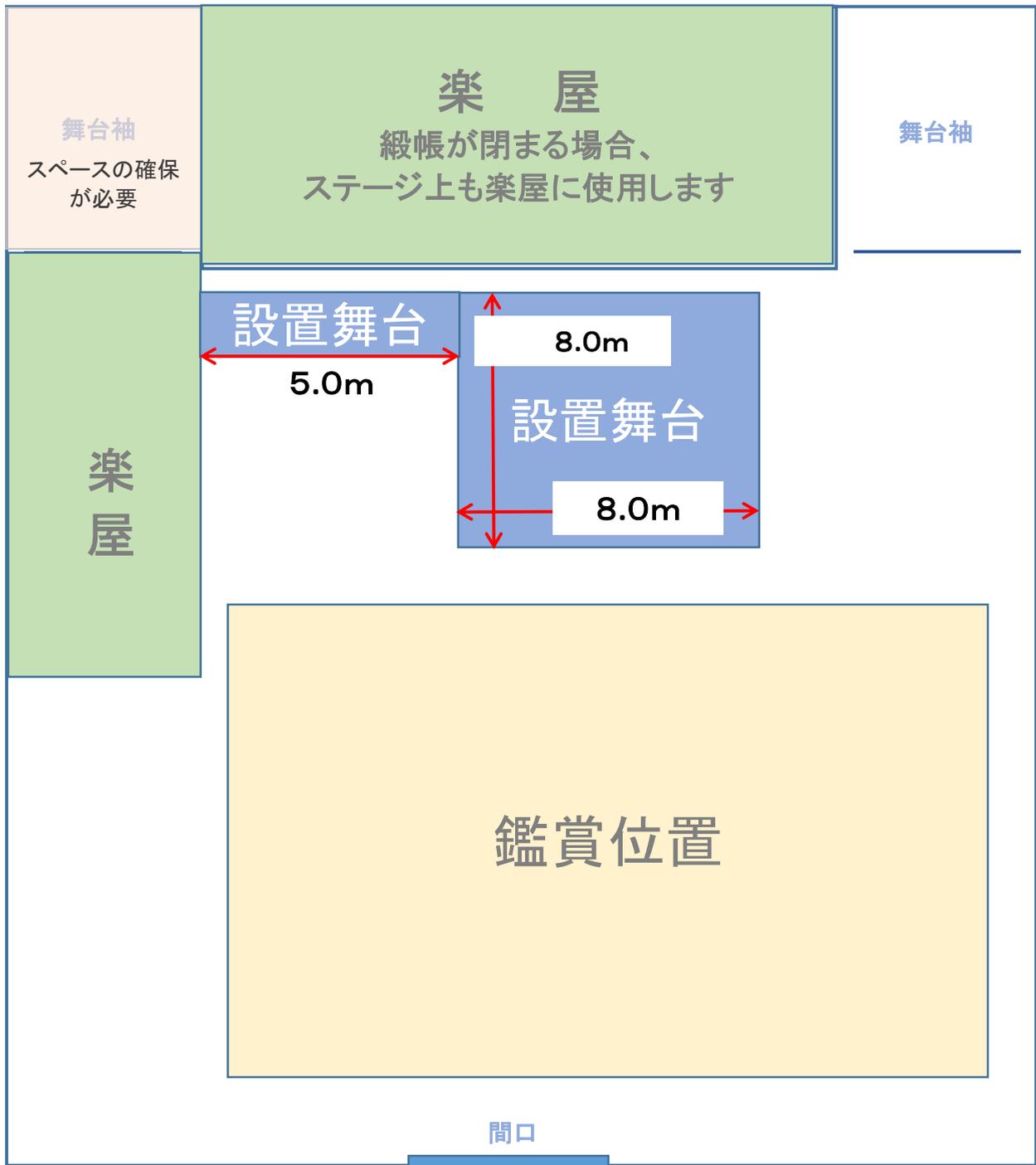


バンは横付けできない場合、30m以内でしたらどこでもかまいません。



← ステージ上に舞台を組んだ場合のイメージ  
(椅子は状況に応じて使用)

ステージ使用時



バンは横付けできない場合、30m以内でしたらどこでもかまいません。



← フロア上に舞台を  
組んだ場合のイメージ

**フロア使用時**